

考察

彼女に何が必要だったのか
それはいまだに謎のままです

彼女に何が余分だったのかと言えば
それは多分人間だった

彼女に何がのしかかっていたかと言えば
それは多分僕だった

湿り気を帯びた風が吹いて
節電で流行った簾を揺らしている

トンボが秋を探して滑空し
戸惑い、右往左往している

名残はあるけれど
既に夏は終わったのだ

彼女の中には僕が居る
泳ぎ、たどり着いた僕が

彼女の中には僕は居ない
一人格としての僕は居ない

彼女に何が必要だったのか
それはいまだに謎のままです

(2011.9.18)